

～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～

**概要**

地域コミュニティの希薄化を見据え、県内で唯一認定されている「日本遺産」の構成資産を核とし、住民主体・官民連携による持続的な賑わいを創出するとともに、歩行者空間および憩いのスペースをネットワーク化することにより回遊性の向上を図る。また、周辺商店街と連携した賑わいを創出することで、来てよし、住んでよしの歩きたくなるまちづくりを推進する。

**課題**




- ・地域コミュニティの希薄化を見据えたまちづくりを実現するための住民主体・官民連携による推進体制の構築
- ・「日本遺産」の構成資産周辺へアクセスするための公共交通網の充実やまちなかの回遊性を高めるための環境整備や外出促進の取組の実施
- ・災害時における持続可能なエネルギー供給体制の整備の必要性

	コンセプト(目的)	目標時期	検討したい取組(施策)	民間企業等の協力を得たい分野・内容
コンパクト	「日本遺産」や観光拠点を 利用した人々の交流による賑わいづくり	中期 (5年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な都市機能を集約した都市拠点の形成</li> <li>・「日本遺産」の構成資産を中心とした周辺整備と地域の観光資源を安全に回遊するためのウォーカブルなまちづくり</li> <li>・公共空間等を活用した多様なイベントの開催など住民主体によるエリアマネジメントの導入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未利用空間(空き家、空き店舗、空き地)のリノベーションや利活用</li> <li>・秩父鉄道行田市駅の利活用や駅周辺の活性化に向けた連携</li> </ul>
スマート	スマート技術を活用した 情報発信や回遊性の向上	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルサイネージ等を活用したイベント情報や災害情報の発信等</li> <li>・アプリ等を活用した回遊の促進及び健康増進(歩きたくなるまちなかの創出)等</li> <li>・公共交通のネットワーク機能強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モビリティサービスの開発</li> <li>・アプリの導入(ウォーカブル、AIオンデマンド交通システム)</li> </ul>
レジリエント	いつもと変わらない生活を守る災害に強いまちづくり	長期 (10年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時でも途絶えることのない電源や水などのライフラインの確保</li> <li>・田んぼダムや校庭貯留、下忍調節池の整備等流域治水対策</li> <li>・無電柱化による災害に強いまちづくり</li> <li>・世代や属性を問わない交流促進による災害時の協力体制の構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生可能エネルギー設備の設置等</li> <li>・蓄電池や太陽光発電などを活用したエネルギーステーションの設置</li> </ul>




# ～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～



## コンパクト・スマート関連

-  ウォーカブルゾーンの設定地域
-  ウォーカブルゾーンや各駅、地区を結ぶ交通網等の再構築
-  市街化区域

## レジリエント関連

-  田んぼダム整備予定区域
-  下忍調節池
-  その他、校庭貯留(整備予定含)  
東小学校、忍小学校、下忍小学校、  
旧太田東小学校、西中学校、行田中学校、  
忍中学校、長野中学校、埼玉中学校、  
南小学校、泉小学校、西小学校



# ～県内唯一の「日本遺産」構成資産を中心としたウォーカブルなまちづくり～

花手水やライトアップイベント等



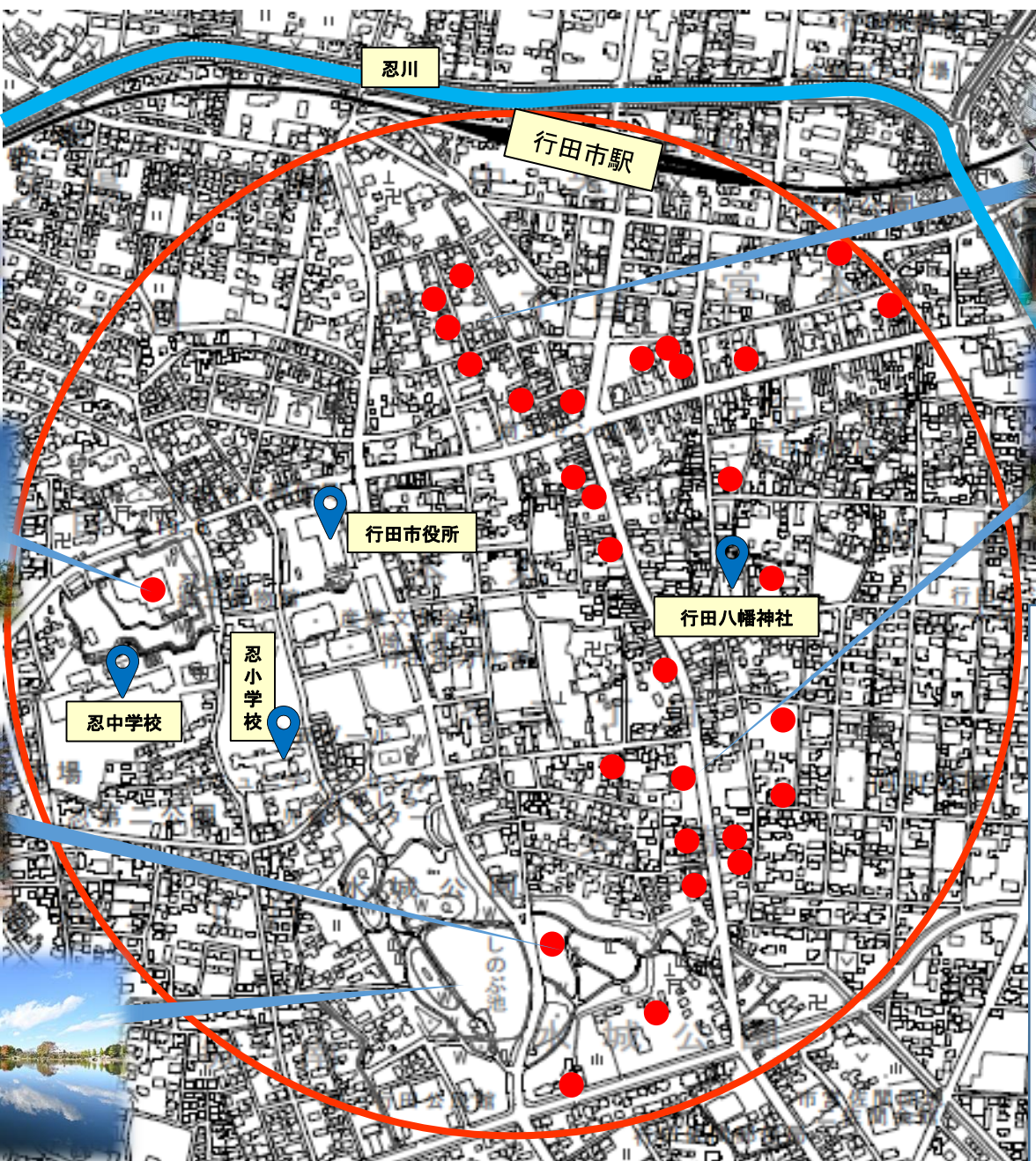
忍城※



旧忍町信用組合店舗※



水城公園



足袋蔵※  
(一例)



- 足袋蔵等日本遺産の構成資産
- ウォーカブルゾーンとして設定(歩行者が回遊しやすい空間を整備)

例示写真中※のあるものは、日本遺産の構成資産